



日本福祉大学で 「日本語で防災について考える出前講座」を実施します

多文化共生に関する取り組みを進めている中、日本福祉大学からの依頼により、「日本語で防災について考える日」という授業の中で、留学生を対象とした「東海市での防災」や「日本の災害と防災の言葉」についての出前講座を実施します。

ほかにも「母国にない災害で驚いたこと」などをテーマとするワークショップや、半田中学校避難所運営委員会の取り組み紹介と災害時のトイレ設営・模擬体験などの実習を行います。

■日時

令和7年（2025年）6月30日（月）午前9時20分～午後0時30分

■場所

日本福祉大学東海キャンパス 4階C401、C402教室

■受講者

日本福祉大学国際学部留学生（約60人）

■授業内容

留学生を対象に日本語で防災に関する幅広い講義及び参加者を交えたワークショップを行います。

時間	内容	講師等
9:30～9:45	日本の災害と防災の言葉を知る	東海市市民協働課
9:45～10:20	東海市での防災について	東海市防災危機管理課
10:20～10:50	ワークショップ 【テーマ】「母国にない災害で驚いたこと、災害に備えること、友達等のためにできることなどについて」	日本福祉大学 国際学部国際学科准教授 カースティ ^{そぶえ} 祖父江 氏
10:50～11:00	休憩	
11:00～11:20	半田中学校での取り組み	半田中学校避難所運営委員会 榊原 肇 氏
11:20～12:00	災害時のトイレ設営・模擬体験	半田中学校避難所運営委員会 小牟礼 広至 氏

問合せ	総務部市民協働課 市民活動推進・多文化共生担当 担当：阿知波（あちわ） 052-613-7525、0562-38-6136
-----	---